

「ゴム工業」

神大写真部



神戸の産業の中心でも「酒造」と並んで有名なこのゴム工業はかつてジャーナリズムで注目されたり「伝統的産業」とある時は美しく形容されたりするにも拘らず、その内容はあまり知られていない。

国鉄新長田駅の高架ホームからの眺望は林立する大小さまざまな煙突とその下に密集するゴム工場の群である。「ゴム協同組合」に加入の業者は約500余、未加入の内職工場まで数えると正確な実数はつかみ難いという。と言うのも広さわずかな4帖半の家内工場では景気の変動ですぐに転業するからである。



80余年の歴史と
信用を誇る

東京海上火災

本店・東京都千代田区丸の内1-6 / TEL 212-6211(大代表)

安田の
貸付信託



安田のぽっこちゃん

利率
年7分3厘7毛
(5年もの予想配当)

安田信託銀行

東京都中央区八重州1の3

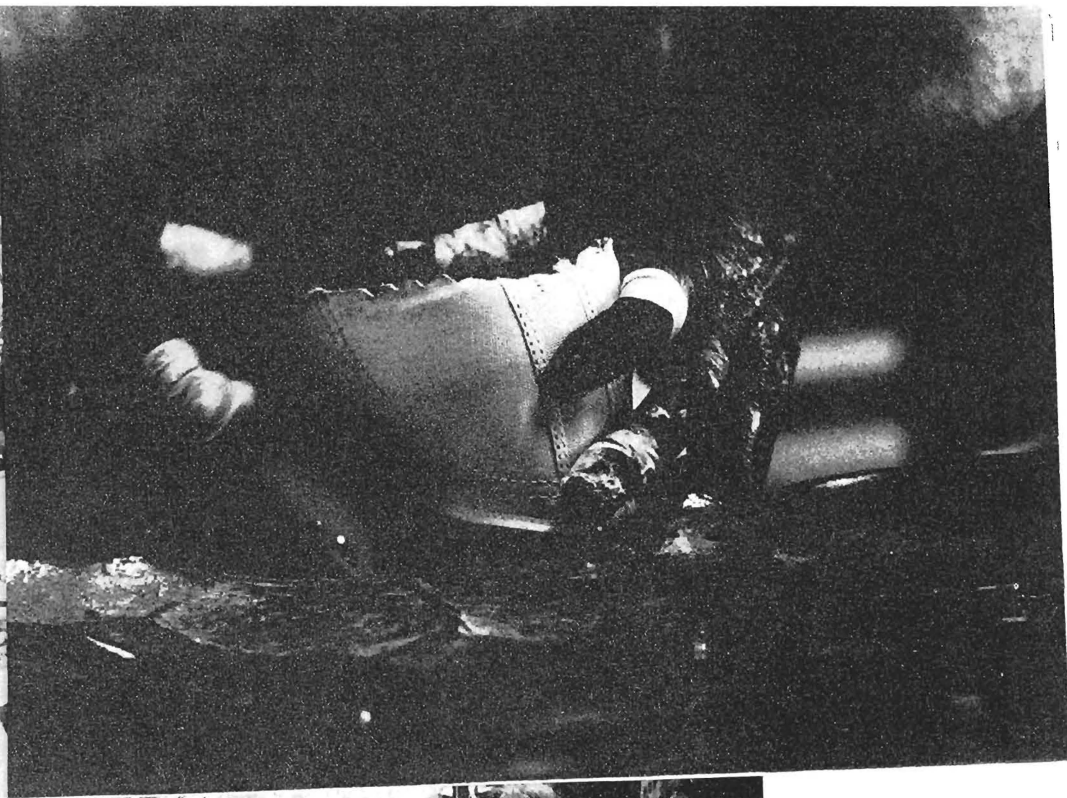


オールマイティー

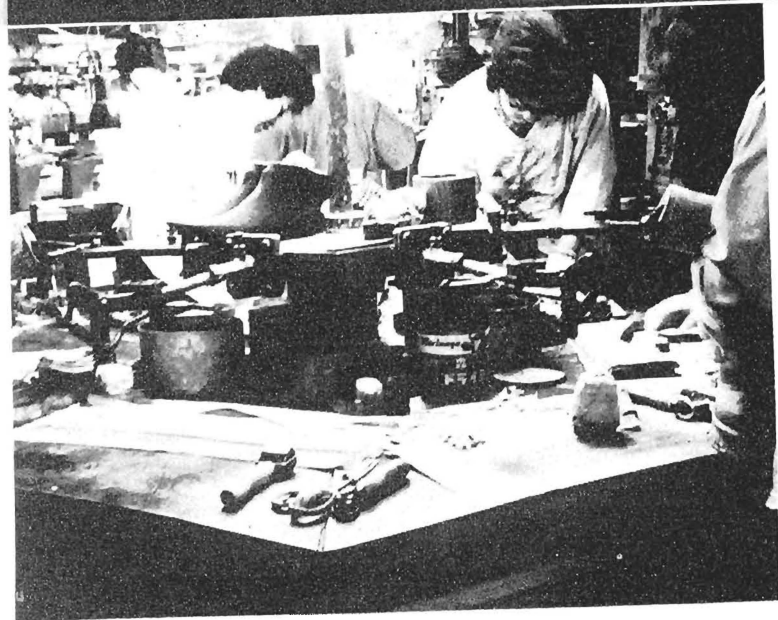
大正海上の住宅・店舗総合保険は
オールマイティーという愛称で広
く親しまれています。

大正海上火災

本店 東京都中央区京橋1の5
電話 (561) 大代表9111



今ハヤリの高度成長の余波だろうか？ 密集する工場群を整理する「工場アパート」の建設が神戸市との間で計画されたり比較的大きい工場などでは経営の合理化が進められ、設備のオートメ化で作業能率が高められたりしている。そしてコンベヤーの側で働らくオバサンも、まばゆい蛍光灯の下で働らく娘さんもその表情は意外と明るい。



中小企業ゆえの暗さはこのゴム工場をも決して例外にはしない。ゴムぐつ底を石油のりで貼る貼工さんたちの黒く汚れた手、仲間が一人抜けた作業台、「工場」と呼ぶにはあまりにも狭苦しい仕事場、そして求人難の昨今……、この職を求めてくる若い人達は年々減る一方、ある工場主は「今働らいている若いもんがやめる頃に求人難におちいるんで、今の処はいいが……」と近い将来を心配する。

神戸大学総合雑誌

展 望

第 14 号

1965年



しかし一方「金のかかる」発展は望もうとしない家内企業意識が根強く存在し、各業者間の利害が衝突している限りゴム工業近代化の道はなお険しいと云わねばなるまい。黒々と、しかし力強く吐き出された煙が神戸の空高く上るようにゴムの街は今ようやく将来に生きる道を求めようと、今日も息吹いているのである。